

2022年度

年末手当の満額回答を求める支社要請行動



↑ 要請文を読み上げている様子



↑ 要請文を渡す林青年部長

11月11日に北海道地本青年部は支社に対して、年末手当の満額回答を求める要請を行いました。この間3回の交渉があり、会社は8月に発生した自然災害による奥羽本線の不通、新型コロナウイルスの感染拡大、ウクライナ情勢や急激な円高など非常に厳しい外部環境が続き、本年度の上期決算状況は非常に厳しい数字となり、2020年度年末手当の状況より厳しい想定だと考え方を示した。それに対して青年部は、期末手当は生活給であり、青年部と家族が安定した生活を送るためにも満額回答が必要不可欠な事、指定公共機関として社会的使命を全うし収入確保に尽力してきた事を伝え、職場環境・生活改善・モチベーション向上のために満額回答を強く求め、本社に上申されるよう要請しました。

手当抑制を許さず、
一致団結して闘おう！！